



兵庫県建築士会会報

tsudoï

5

2025 May No.486



兵庫の建築
Architecture of
HYOGO

西宮名塩駅 斜行エレベーター 平成6年 建設省都市景観大賞100選

完工年 1991年 所在地 兵庫県西宮市名塩新町

西宮市の北部に唯一通っている JR 宝塚線に西宮名塩という駅があります。トンネルとトンネルの間にある駅ですが、そこにお洒落な街（西宮名塩ニュータウン “創造の丘ナシオン”）が展開されています。この街の玄関口に街のシンボルとなる（出来た時は日本一）の斜行エレベーターがあります。高低差約 60m、斜行長約 145m、斜度 23°、速さは毎分 90m です。平成 2 年 2 月に着工、翌 3 年 7 月に完成して、9 月 5 日から一般利用が始まりました。現在は西宮市の所有になり維持管理されています。止まる階数は 1、2、3 階。普通のエレベーターとは違い、階が均等ではなく、1～2 階は約 2 分、2～3 階は約 30 秒です。2 基が活躍していますが、朝のラッシュ時は 3 階で満員になると 2 階は素通りするので、元気な人は横か中央の階段を降りています。西宮名塩ニュータウン “創造の丘ナシオン” は住宅・都市整備公団（現・UR 都市機構）が昭和 53 年から工事を開始。西宮市総合計画で目標とされた「活力とうるおいのある文教住宅都市」を目指し、「出会い 創造 にしのみや」をコンセプトとしてまちづくりが進められました。区域は、南北 1.5km、東西 2km、面積は甲子園球場の約 61 倍にあたる 243ha です。街が開かれてから約 35 年。当時からの居住者も、子どもたちは独立して、中年から熟年、老年になりつつあります。しかし、坂の上の街でも、住人が気軽に外出できるのは斜行エレベーターのお陰です。



EV3階乗り場

8年前には、外装改修工事が施されて美しさを保ち、また、バブル前からの計画だったこともあって、デザイン性にも優れており、今後これ以上に美しい斜行エレベーターは現れないと、勝手に思っています。街の住人もみんなこの街を愛していて、一旦外に出て行った子どもの中には、またこの街に家を建てて舞い戻る人もいます。

街の主要道路沿いは「東山台桜通り」と言って 3.3km の桜並木が続いています。西宮市には、北部にも南部にはない自然豊かで美しい街並みや桜並木の見所があります。西宮名塩駅に降り立った際には、JR 福知山線廃線敷ハイキングだけでなく、ナシオンの街並みもお楽しみください。

参考資料：にしのみやデジタルアーカイブ 文・写真：立山 みどり（阪神支部）



EV中央の階段



EVシャフト内



EV2階乗り場

目次	P.1 兵庫の建築・西宮名塩駅 斜行エレベーター
	P.2 第4回 近畿住宅大賞 最優秀賞 インタビュー
	P.3 構造学習会 2024
	P.4 令和6年度の表彰受賞者

メール配信と名簿のご案内

「集 tsudoï」誌面に掲載できない情報などを「兵庫県建築士会メールニュース」として配信しています。受信希望の方はホームページからメール配信登録をください。またホームページの名簿への掲載を希望される方は会員建築士名簿のページからお手続きください。



■最優秀賞作品「ゆりの木ハウス～新しい住居システム『セレクトティブハウス』」

令和6年12月7日に、近畿建築士協会による第4回近畿住宅大賞の最終審査が開催されました。この賞は近畿圏内の大学などの学生の住宅設計作品を対象としており、今年は97作品の応募がありました。最優秀賞に明石工業高等専門学校（以降 明石高専）5年生の増本唯衣さんが選ばれました。県内からはほかに、神戸芸術工科大学の早坂樹莉亜さんが入賞、武庫川女子大学の上野山亜希さんが企業賞（株式会社総合資格関西本部）を受賞されました。春から東京での大学進学を控える増本さんにインタビューを行いました。



増本さんと作品

— 住宅大賞を受賞した作品について教えてください

増本さん：従来の集合住宅にあるパブリック空間に、「水回りを共有する」という行為を通じて生まれる可能性を付加し、それを住民がライフステージに合わせて選び、住み替える新しい住モデル「セレクトティブハウス」の提案です。敷地は明石市の大規模再開発エリアで、ここで集合して住むことの意味を問い直し、パブリック空間を軸とした都市機能と住宅が一体となったまちづくりの提案をしています。



作品の模型

— 明石高専で建築を専攻されるきっかけと学校での様子を教えてください

増本さん：学校の地元の江井ヶ島出身で自然に明石高専の建築に進みました。2年生の課題で水島先生（現在は大阪工業大学）と出会ったことが大きな転機となりました。自分に向き合ってくれる感覚が嬉しく、作品が一番に選ばれ、周りの評価も得て自信がつき、建築にのめりこんでいきました。また、茶道と書道を続けてきて「わびさび」や「ゆらぎ」の感覚、「見えない空間の捉え方」が会得できている実感があり、自分のポテンシャルになっていると思います。

— 2年前の「建築甲子園」で全国でまちづくり委員長賞を受賞されています。コンペへの取り組み方を教えてください

増本さん：「建築甲子園」は、3年生でメンバーを組み「絶対に全国へ行く!」という強いパッションを持ってフル稼働でした。指導は水島先生にお願いしましたが、基本は学生にまかされています。日本造園建設業協会の「全国造園デザインコンクール」は佳作、建築新人戦では100選に選ばれました。学校には学外の活動の実績を評価する賞が設けられていて、建築の賞レースも熾烈です。後輩たちも優秀でモチベーションも高いですよ。

— 卒業後は横浜国立大学に進学される予定ですが、将来は？

増本さん：建築家に憧れ、建築家を育てる大学として横浜国立大学を選びました。「横国イズム」を一から学び直す覚悟です。大学院にも進学したいです。ずっと鍛錬を続けていきます。

— インターンシップはどうされましたか？

増本さん：多角的にデザインを考えたくて、KIITOでソフト面でのデザインを体験しました。また、九州大学の未来構想デザインコースで、人間行動分析から製品や空間を考えるとというインダストリアルデザインの思考法を学びました。

— 好きな建築や建築家は？

増本さん：建築家の思想やプロセスに興味があります。山本理顕さんの「地域社会圏主義」にはとても影響を受けています。安藤忠雄さんの21_21 DESIGN SIGHTはどんな展示でも空間と馴染むところやディテールに惹かれます。グラングリーン大阪には驚くほど沢山の子ども達が出現し、建築がそこにあることの意味を考えさせられました。

— 建築以外で好きなことは？

増本さん：お笑いが好きで、しゃべくり漫才は私のプレゼンのお手本です。起承転結の組み立てや間でドカン!と受けたら勝ち。自分も相手が求めていることを読み取りながら、「面白い」って自分に興味を持ってもらった瞬間に、一番伝えたいことをぶっこみます。

— 建築士会に期待することは？

増本さん：建築甲子園は是非公開審査にしてほしいです。審査委員の方から直接話が聞けるチャンスがモチベーションに繋がります。また、インターンシップのための繋がりや実際の仕事についてお話を聞ける機会があるといいですね。

<取材後記> ポジティブでパワフル、お笑いを建築に取り込む若者の発想に感心しました。そんな彼女を育んだ明石高専の風土も素敵です。増本さんや明石高専の後輩たちの躍進にこれからも注目していきたいです。

取材・文・写真：会勢特別委員会 嶋本 浩史（明石支部長） 杉本 雅子（委員長）



■「木構造を学ぶ」4号特例の縮小に備えて＜実践編＞(全10回)

姫路支部では2016年より意匠設計者向けの構造学習会を月一度のペースで開催し、今年度でちょうど10年目になります。当初は、対面形式で開催していましたが、2021年からはコロナ感染症拡大対策として、オンライン講習に切り替えると共に、対象を県内の建築士に広げ、公益事業の一つに位置付けられました。昨年度は4号特例縮小への対応として木造住宅の許容応力度計算について、兵庫確認検査機構の景山氏に講義いただきました。65名の受講申し込みがあり、合計10回の開催で、延べ397名の方に受講いただきました。また、欠席者に対して、アーカイブにて録画を視聴できるようにしました。9月には、補講として、法改正に伴う壁量規定の変更や柱の細長比への対応などを国交省よりリリースされているプログラムを用い、実践形式で対面およびZOOMにて研修会を開催しました。意匠設計者にとって建築構造の学習は、建築士の試験勉強の時間がピークで、実務においては構造設計者任せになっているのが現状ではないかと推測します。

構造が意匠設計者にとって縁遠いものとなってしまう原因として、①建築基準法や構造規定が非常に複雑であること、②プログラムによる計算が主流となり中身がブラックボックス化していることなどが挙げられます。構造学習会では、建築構造を気軽に、楽しく、継続的に学べることを目的としています。令和5年度には、建築構造を学ぶにあたり、建築から少し離れて、構造が顕わになっている土木建造物や身近な乗り物などを例にとりながら、力の流れや応力集中について解説いただきました。三角関数や弧度法、ネイピア数がどのように構造力学に繋がっていくのかをお話いただき、大変好評でした。建築士会会員以外の方が全体の4割もおられ、建築士の皆さまの学習意欲、向上心を感じています。今年度の構造学習会は、初めての試みで、実際の木造2階建て住宅を、受講生の皆さんと一緒に許容応力度計算で解いていき、受講生の方々の質疑に講師が解説していく形式で進めていきます。今年度は講義の形態上、人数を制限させていただきましたが、スムーズな講習会が実現すれば、次年度は少し人数を増やしてより多くの方に、木造の許容応力度計算を実際に学んでいただけるのではないかと思います。

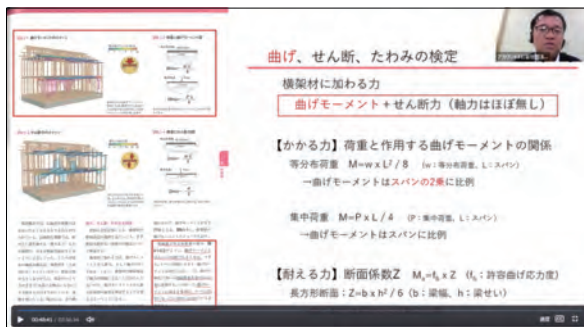
文・写真：石原 弘一（姫路支部長）



4号特例縮小 実践講座 講義風景（対面形式にて）



4号特例縮小 実践講座 受講生入力風景



ZOOM スライドによる講義



兵庫確認検査機構の景山氏による ZOOM 講義

実施一覧	日時	学習内容	参加人数	うち会員外
第1回	2024/5/23(木) 午後7～9時	木造における構造設計の考え方、使用材料、覚えておきたい用語・公式 木造の構造計算ルート、軸組工法の力の流れ、木材の材料強度と特性、構造力学の基礎	55名	24名
第2回	2024/6/27(木) 午後7～9時	荷重と外力 3つの荷重と2つの外力の解説と計算	46名	22名
第3回	2024/7/25(木) 午後7～9時	木造の仕様規定 法改正も踏まえた仕様規定の整理と耐力壁について	41名	21名
第4回	2024/8/22(木) 午後7～9時	地震や強風に耐える鉛直構面（耐力壁） 鉛直構面の剛性と許容せん断耐力の計算、梁上耐力壁の扱い、偏心率の計算	42名	20名
第5回	2024/9/26(木) 午後7～9時	剛床仮定と水平構面 地震力、風圧力に対する水平構面の検定	37名	16名
第6回	2024/10/24(木) 午後7～9時	接合部の検討、引き抜き金物と周辺部材の重要性 柱頭・柱脚接合部の許容引張耐力の検定、土台の曲げとアンカーボルトの検定	43名	16名
第7回	2024/11/28(木) 午後7～9時	鉛直荷重による横架材の断面検定 横架材の曲げ・せん断・たわみに関する検定	34名	14名
第8回	2024/12/12(木) 午後7～9時	鉛直荷重による柱・土台の検定 鉛直荷重による柱の座屈、面外風圧力、土台のめり込みの検定	31名	13名
第9回	2025/1/23(木) 午後7～9時	地盤調査データの見方、地耐力の算定、ベタ基礎の設計 建物の地震層せん断力を求めてみよう！	35名	14名
第10回	2025/2/27(木) 午後7～9時	地盤と基礎の計算・ベタ基礎における基礎梁・底盤の検定、人通口の検討他 木造住宅の構造計算の要点（1年間の学習内容の振り返り）	33名	13名
補講	2024/9/28(土) 午後7～9時	4号特例縮小に備えるII（プログラム実践入力講座） 於：じばさんビル および オンライン	14名	1名

※ZOOMによる オンライン講習（CPD 認定プログラム 各月2時間 2単位）

累計（補講除く）397名 173名

令和6年度の表彰受賞者 一本会推薦による受賞者（☆は支部推薦）

■令和6年 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰



本会副会長 淡路支部
岡崎 雅彦

表彰 令和6年7月10日

この度は、建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰という栄誉ある表彰を賜りありがとうございます。これも、建築士会活動を通して諸先輩方を始めとする皆様のおかげだと感謝申し上げます。今後も楽しく魅力のある会となるように、また社会貢献活動に微力ですが、尽くしていきたいと存じます。

■第36回住生活月間功労者国土交通大臣表彰



本会元副会長 神戸支部
八木 景子

表彰 令和6年10月5日

この度、香川県高松市にて高円宮妃殿下御臨席の下開催されました第36回住生活月間にて、住宅・建築に関する分野における活動に対し、国土交通大臣表彰を賜りました。これも、平素から皆様のご指導、ご協力をいただきましたおかげと感謝申し上げます。今後も微力ながら社会貢献と自己研鑽に努めていきたいと存じます。ありがとうございました。

■令和6年度兵庫県功労者表彰



本会副会長 姫路支部
西嶋 宣久

表彰 令和6年5月3日

この度は兵庫県まちづくり功労者表彰を賜りまして誠にありがとうございます。これも、ひとえに長年諸先輩方を始めとする会員の皆様のおかげだと感謝申し上げます。共に一緒に活動できることを心より嬉しく思います。今後も県民の皆様をはじめとする社会の方々への期待に応えるべく、日々精進してまいりたいと思います。

■第66回建築士会全国大会（鹿児島大会）日本建築士会連合会長表彰



本会理事 明石支部
嶋本 浩史

表彰 令和6年10月25日

この度は日本建築士会連合会長表彰を賜りましたこと大変光栄に存じます。平素より会員の皆様にご指導、ご協力頂き心より感謝申し上げます。今後も精進し微力ながら建築士会へ貢献出来るよう努めて参ります。誠にありがとうございました。



本会理事 浜坂支部
西尾 高雄

表彰 令和6年10月25日

この度は日本建築士会連合会長表彰を賜りまして大変光栄に存じます。これもひとえに、ご協力くださっています会員及び関係各位の、ご協力ご指導の賜物と厚く感謝申し上げます。今後とも自己研鑽及び社会貢献に精力的に努めてまいりたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻賜ります様お願い申し上げます。ありがとうございました。



本会理事 姫路支部
上田 達也

表彰 令和6年10月25日

この度、日本建築士会連合会長表彰を受け賜りました。皆様のご指導、ご支援の賜物と感謝と共にお礼申し上げます。今後も微力ながら建築士会活動に貢献したいと存じます。

☆兵庫県自治賞（まちづくり功労）表彰 令和6年12月24日
神戸支部 **野口 直人**

☆兵庫県自治賞（土木建設功労）表彰 令和7年1月31日
阪神支部 **草野 博黙**

☆兵庫県自治賞（土木建設功労）表彰 令和6年12月18日
姫路支部 **吉田 一幸**

発行：公益社団法人 兵庫県建築士会 編集：企画情報委員会 〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-6-11 エクセル山手2階
URL：https://www.hyogo-aba.or.jp/ E-mail：info2908@hyogo-aba.or.jp TEL：078-327-0885 FAX：078-327-0887